

施策評価シート

施策コード	5401	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	交流拠点の魅力創出	所属名 経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○アジアをはじめとした国外との人やモノ、文化、情報の流れが活発化し、グローバル化が進展する中、本市においても国際的視点で地域社会や地域経済を考えていくことが求められています。</p> <p>○国外の姉妹都市や環日本海諸国などの近隣の国・地域との多様な文化交流を展開しています。また、経済・観光交流へつなげることが期待されています。</p> <p>○国において訪日外国人旅行者の誘客が推進される中、観光資源の磨き上げや掘り起こしによる魅力の向上と情報発信を通じた認知度を高め、誘客を図ることが必要です。</p> <p>○鳥取自動車道の開通により、陸・海・空の交通の要衝としての優位性が一層向上しました。今後、環日本海諸国とのゲートウェイ（玄関口）都市としての存在感が増すよう、関西圏・山陽圏や環日本海諸国と連携を強化していくことが必要です。</p>
めざす方向	人、モノ、文化、情報の流れの活発化を図る取組みに力を入れるとともに、環日本海諸国などをはじめとする近隣諸国との交流を深め、世界に開かれ住みよい交流拠点として、文化交流や経済交流が活発な「環日本海ゲートウェイ都市」を目指します。
達成するための対策・手段	<p>①市民等との連携による多様な交流の展開</p> <p>②国際経済交流の充実</p> <p>③環日本海経済交流の推進</p> <p>④国外への情報発信の強化</p> <p>⑤鳥取港や鳥取空港の利用促進</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	鳥取港取扱貨物量	万t	目標	53	55	57	59	60
				実績	37,435	59,759	82,83	68,422	0
				目標達成率	71%	109%	145%	116%	
		(指標の説明) 鳥取港における取扱貨物量(基準値はH21年度)							
	2	鳥取空港国際チャーター便数	便	目標	12	14	16	18	20
				実績	8	8	12	10	0
				目標達成率	67%	57%	75%	56%	
		(指標の説明) 鳥取空港への国際チャーター便就航便数(基準値はH21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	36,183	23,750	23,560	28,614	0

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>第10回中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェアへ市内企業が5社出展したほか、ロシアウラジオストク市チャーター便による経済・観光団派遣・商談会の開催、ロシアウラジオストク市主催第1回アーバンフォーラムへの参加・発表等を行いました。</p> <p>また、環日本海経済交流センターにより、市内企業の貿易相談・サポート、外国関係者・機関等とのマッチング及び翻訳・通訳業務支援等を実施したほか、環日本海等アンテナショップ支援事業により1件のアンテナショップ運営を支援しました。</p>
---	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>グローバル化の進展の中、環日本海諸国をはじめとする諸外国と市内企業等との経済交流を一層促進・支援するとともに、環日本海経済交流センターの積極的な活動や国際発展協議会等による連携した取組を進め、本市の経済活性化につなげていきます。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	002421	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	姉妹都市等交流事業(国際交流)		所属名	企画推進部 文化芸術推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	鳥取市年交流ビジョン
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際交流費		予算事業コード	01-02-01-07-11-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の国際姉妹・交流都市をはじめとする各国他都市との交流
意図 (どのような状態にするために)	本市の国際姉妹・交流都市をはじめとする各国他都市との幅広い分野での交流を展開する
手段 (どうするのか)	各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携・交流事業を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成24年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成25年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成26年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	平成27年度 各国の駐日大使や総領事、国際親善団体、経済団体との連携	
	年度別実績	・日華親善協会事業への参加 ・南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ・延辺朝鮮族自治州への代表団派遣 ・ブラジル鳥取県人会への支援	・日華親善協会事業への参加 ・南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ・延辺朝鮮族自治州の代表団受入 ・ブラジル鳥取県人会周年行事への参加	・日台親善協会事業への参加 ・南ソウル大学海洋ごみ収集活動への支援 ・ブラジル鳥取県人会への支援	・ブラジル鳥取県人会 ・シャム祭りへの参加 ・延辺朝鮮族自治州の代表団受入		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,245	4,155	1,857	3,126	0	
	直接経費 A	746	2,670	400	1,622	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	746	2,670	400	1,622	0		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	回	目標	2	2	2	2	2	
	実績		実績	4	4	4	3	0		
	(指標の説明) 交流事業の実施回数									
	2	目標		目標	0	0	0	0	0	
		実績		実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3	目標		目標	0	0	0	0	0		
	実績		実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 なし</p> <p>【事業の概要】 姉妹都市をはじめとする多くの都市と経済・文化・教育など様々な分野での交流を実施する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル鳥取県人会の第50回鳥取しゃんしゃん祭りへの参加 ・中国延辺朝鮮族自治州代表団の受入 <p>【今後の課題・方向性】 国際交流の促進にあたって、特に、各国の駐日大使館や総領事館、国際親善団体、経済団体などとの連携が重要となっている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業数	200%	200%	200%	150%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市・友好都市以外で鳥取市と縁が深い民間交流活動を活用し、交流の幅を広げる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	交流を絶やさず鳥取市との関係性を保つためには有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	行政主体でなく、民間主体の活動を支援することで効率的に交流を展開することが可能。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	交流が広がることにより、広い市民が対象となる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	国際交流の促進にあたっては、各国の駐日大使館・総領事館、国際親善団体、経済団体等の連携が重要であり、今後とも連携や交流事業を実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002422	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	姉妹都市等交流事業(ハーナウ市)		所属名	企画推進部 文化芸術推進課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	総規第4章姉妹都市・国際交流
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ハーナウ市関連事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ドイツ・ハーナウ市との交流
意図 (どのような状態にするために)	ハーナウ市との相互理解を深め交流を広げる
手段 (どうするのか)	両市で姉妹都市交流事業を実施し、両市の市民に情報発信を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 10周年事業の実施 市民交流の促進	平成24年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成25年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成26年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成27年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	
	年度別実績	・姉妹都市提携10周年記念式典の相互開催(ハーナウ市代表団受入11名、鳥取市代表団・市民団派遣23名)	市民交流事業促進	○民間交流事業として、日独国際交流コンサートを両市で開催。費用の一部を補助し、開催支援を行った。 ○両市の高等学校交流事業として、市内の高等学校でハーナウ市高校PR事業を実施。	○ハーナウ市民訪問団が来鳥し、市民等と交流 ○両市の高等学校交流事業として、市内の高等学校でハーナウ市高校PR事業を実施。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,222	2,228	2,186	2,386	0	
	直接経費 A	4,973	0	0	129	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,973	0	0	129	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			回	目標	4	2	2	2	2	
			実績	4	1	3	2	0		
	(指標の説明) 交流事業の実施回数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市の姉妹都市交流を推進するため、両市の市民交流などを支援する。 ・ハーナウ市交流訪問団を受入、本市の市民団体および関係者との交流会等を実施。 <p>【事業の成果】</p> <p>ハーナウ市との交流は平成13年11月20日の姉妹都市提携以降、市民交流などを中心に年々活発化している。近年は、文化団体の派遣や受入といった市民交流の支援を実施している。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>今後も継続して市民交流の支援を行い、両市の交流を促進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業数	100%	50%	150%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	文化・教育・経済といった様々な分野の交流を促進する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民交流を促進することにより、国際交流の推進や多文化理解の機会を創出する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民団体による交流事業が多く実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く市民を対象としている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>相互交流を実施している市民団体や新たに文化交流を実施する市民団体等があり、両市の交流の輪は着実に広がっている。本市としては、継続して市民交流の支援を行い、両市の交流を促進していく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002423	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	姉妹都市等交流事業(清州市)		所属名	企画推進部 文化芸術推進課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	総規第4章姉妹都市・国際交流
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	清州市関連事業費		予算事業コード	01-02-01-07-11-06	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	韓国・清州市との交流
意図 (どのような状態にするために)	清州市との相互理解を深め交流を広げる
手段 (どうするのか)	両市で姉妹都市交流事業を実施し、両市の市民にPRする

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 20周年事業の実施 市民交流の促進	平成24年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成25年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成26年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	平成27年度 姉妹都市交流事業の実施(随時)	
	年度別実績	代表団の相互訪問 市民交流事業促進	市民交流事業促進	清州市工芸ビエンナーレ参加。鳥取市ブース出店。H25.10.10-12	・市民交流事業促進 ・清州市市民訪問団受入		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,504	1,485	2,121	1,504	0	
	直接経費 A	3,492	0	664	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,492	0	664	0	0	
人件費 B	2,012	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			回	目標	7	5	2	2	2
	(指標の説明) 交流事業の実施回数		実績	7	5	1	2	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 なし</p> <p>【事業の概要】 両市の姉妹都市交流を推進するため、市民相互交流事業などを支援。</p> <p>【事業の成果】 本市と韓国・清州市とは平成2年に姉妹都市提携を結び、平成22年に提携20周年を迎えた。両市間では大学や青少年団体、文化団体などの交流事業が実施されるなど、様々な市民交流が続いている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して市民交流の支援を行い、両市の交流を促進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業数	100%	100%	50%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	文化・教育など様々な分野の交流を促進する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民交流を促進することで、国際交流の推進や多文化理解の機会の創出を図る。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民団体による交流事業が多く実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く市民を対象としている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	行政や市民団体による交流の輪は継続して実施している。今後とも継続して交流を行い、両市の交流を促進していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002427	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	国際交流推進事業(太倉市)		所属名	企画推進部 文化芸術推進課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	太倉市代表団受入事業費		予算事業コード	01-02-01-07-11-17	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中国・太倉市との交流
意図 (どのような状態にするために)	太倉市との相互理解を深め交流を広げる
手段 (どうするのか)	太倉市代表団などを受入れ、市域視察などを実施し、相互の情報交換を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 太倉市代表団の受入	平成24年度 太倉市代表団の受入	平成25年度 太倉市代表団の受入	平成26年度 太倉市代表団の受入	平成27年度 太倉市代表団の受入	
	年度別実績	受入なし	太倉市代表団の受入	受入なし	受入なし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	926	0	0	0	
	直接経費 A	0	183	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	183	0	0	0
人件費 B	0	743	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	受入人数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			実績		5	5	0	1	1			
	(指標の説明) 代表団の受入人数											
	2		目標	0	0	0	0	0				
			実績	0	0	0	0	0				
	(指標の説明)											
3		目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 なし</p> <p>【事業の概要】 青谷町地域と中国・太倉市との友好関係を基礎に、平成22年10月に鳥取市と太倉市は友好交流の覚書を締結し、鳥取市全体との交流を推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度に本市の交流都市である中国・太倉市から、市長をはじめとする市政府の主要機関代表、文化、教育、産業経済関係者等を受け入れ、行政・教育・各種機関・団体訪問と懇談、市民交流、企業視察、公共施設等視察、市域視察などを実施し、相互の情報交換を通じて、国際ニーズに対応できる新たなまちづくりの視点を養い、もって住民の国際意識の涵養を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 合併により青谷町から引き継いだ交流都市であり、今後とも継続した交流を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	受入人数		120%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	交流都市として交流を深める必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	近年、来鳥されていない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	直接、首長と面会し話を進めることができる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	交流が広がることにより、広い市民が対象となる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	合併により青谷町から引き継いだ交流都市であり、今後とも継続した交流を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002428	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	国際交流推進事業(青少年使節団)		所属名	企画推進部	文化芸術推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	鳥取市都市交流ビジョン
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際交流青少年使節団訪中事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-19

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小・中学生の国際交流
意図 (どのような状態にするために)	次世代を担う小・中学生に多様な文化に直接触れる機会を提供し、国際感覚に優れた人材を育成する
手段 (どうするのか)	小・中学生による訪中団を結成し、相互理解を深める交流事業などを実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 小・中学生訪中団の派遣	平成24年度 小・中学生訪中団の派遣	平成25年度 小・中学生訪中団の派遣	平成26年度 小・中学生訪中団の派遣	平成27年度 小・中学生訪中団の派遣	
	年度別実績	小・中学生訪中団の派遣:8月3日～6日 参加者10人	小・中学生訪中団の派遣:8月9日～12日 参加者10人	中国で鳥インフルエンザ発生、安全のため中止	小・中学生訪中団の派遣:8月19日～22日 参加者10人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,966	2,062	0	2,265	0	
	直接経費 A	1,216	1,319	0	1,513	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	350	350	0	350	0
	一般財源	866	969	0	1,163	0	
人件費 B	750	743	0	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		訪中団の派遣希望者数	人	目標	30	20	0	20	20	
			実績	44	29	0	12	0		
	(指標の説明) 訪中団の派遣希望者数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 33 (企006)</p> <p>【事業の概要】 次世代を担う小・中学生に、多様な文化と歴史・民俗慣習などに直接触れる機会を提供し、国際感覚に優れた人材の育成を図る。また、鳥取市の代表として友好交流の「大使」の役割を果たすことで、自信と活力を持った人づくりに寄与する。</p> <p>【事業の成果】 10人の小・中学生による訪問団を結成し、太倉市で教育機関「少年官」の子どもたちとの交流を行った他、太倉市・上海市などにおいて、歴史・文化施設等の視察を実施した。</p> <p>平成24年度 1, 319千円 (団員10人、引率3人) 平成25年度 中止 平成26年度 1, 513千円 (団員10人、引率3人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 次代を担う小・中学生が国際交流に触れる事業であり、今後とも継続する。</p> <p>※その他財源の諸収入は、使節団参加費</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	訪中団の派遣希望者数	147%	145%		60%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	次代を担う青少年が国際交流を経験することにより、国際化に対応する人材育成が図れる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	実際に外国に行って交流することにより、国際理解、国際感覚の涵養につながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	青少年の人材育成の面からも有効な事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市全域の小中学校から公募している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	次代を担う青少年が国際交流を経験する効果的な事業であるので、今後とも継続していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002435	重点事業区分	リープロ5	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	環日本海経済交流推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	環日本海経済交流推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-41-20

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海外でのビジネスを検討している市内企業・事業者及び経済観光団体
意図 (どのような状態にするために)	環日本海地域ほか海外における貿易振興、観光客誘致
手段 (どうするのか)	貿易に関する相談窓口等サポート、貿易支援機関から収集した情報提供、海外への商談会・フェアへの出展

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 環日本海拠点都市会議の開催。経済交流の推進	平成24年度 環日本海諸国ほか海外との経済交流の推進	平成25年度 環日本海諸国との経済交流の推進	平成26年度 環日本海諸国との経済交流の推進	平成27年度 環日本海諸国との経済交流の推進	
	年度別実績	第17回環日本海拠点都市会議、とっとり産業フェスティバル開催。中国延辺に鳥取市訪問団を派遣。	中国延辺朝鮮族自治州との経済交流書締結、中国延辺朝鮮族自治州での貿易フェア出展、ロシアウラジオストク市経済訪問による商談会の開催	中国延辺朝鮮族自治州投資貿易フェア出展、中国上海鳥取市観光PRコーナーの開設、清州国際工芸ビエンナーレ出展、ロシアウラジオストク市へ経済・観光団派遣・商談会の開催	中国延辺朝鮮族自治州投資貿易フェア出展、ロシアウラジオストク市へ経済・観光団派遣・商談会の開催、ロシアウラジオストク市第1回アーバンフォーラムへの参加、韓国メディアFAMツアー受入		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,945	7,903	11,275	17,133	0	
	直接経費 A	1,446	4,190	7,632	13,372	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,446	4,190	7,632	13,372	0	
人件費 B	1,499	3,713	3,643	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		貿易等相談件数	千円	目標	0	200	200	200	200
	(指標の説明)		実績	0	40	166	192	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 1 1 2 (経0 1 6)</p> <p>【事業の概要】 平成22年8月にロシアウラジオストク市、平成24年9月に中国延辺朝鮮族自治州と経済交流を促進する覚書を締結するとともに、市内企業、経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関及び県・市等との緊密な連携のもとに、平成25年4月に「鳥取市国際経済発展協議会」を設立し、「環日本海経済交流センター」を開設した。 当センターにおいて、ロシア・中国・韓国のコーディネーターを配置し運営を行うことにより、市内企業の貿易相談・サポート、外国機関等とのマッチング・海外展開支援を行うとともに、海外でのアンテナショップの支援等を行う。</p> <p>【事業の成果】 1 第10回中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェアへの出展 2 ロシアウラジオストク市チャーター便による経済・観光団派遣・商談会の開催 3 ロシアウラジオストク市主催第1回アーバンフォーラムへの参加・発表 4 鳥取市国際経済発展協議会が運営する環日本海経済交流センターでの貿易相談・サポート、外国関係者・機関等とのマッチング及び翻訳・通訳業務支援等の実施 5 環日本海等アンテナショップ支援事業により1件のアンテナショップ運営を支援</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の経済発展を推進するため、引き続き関係各都市と緊密な連携を保ちつつ、「環日本海地域」を含めた海外での具体的な貿易振興・観光客誘致の施策を実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	貿易等相談件数		20%	83%	96%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	環日本海地域における各都市との経済・観光交流の活発化を図ることが本市の経済発展に資するものである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	経済訪問団の派遣や物産展の出展することで、経済・観光交流を積極的に推進できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	貿易相談やサポートを行い海外との経済交流を実施しているが、アンテナショップ等での物産品の販売をより推進したい。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内企業を訪問し、サポートや相談するなど情報提供に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	市内企業・事業者及び市内経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関、県・市等との緊密な連携のもとに、環日本海地域ほか海外における具体的な貿易振興、観光客誘致の施策の検討・実施に取組み、経済・観光交流の一層の活発化を図ることにより、本市の経済発展を推進する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002420	重点事業区分	リープロ5	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	国際情報発信事業		所属名	企画推進部 文化芸術推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	04	環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする		根拠法令、根拠計画等	鳥取市都市交流ビジョン
施策	5401	交流拠点の魅力創出				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鳥取港取扱貨物量		37万t	60万t	運営方法	直営
	鳥取空港国際チャーター便数		8便	20便	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国際交流員配置事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	国際姉妹都市との交流 市民の国際理解
意図 (どのような状態にするために)	国際姉妹都市などとの交流を推進する 市民の国際理解を推進する
手段 (どうするのか)	国際交流員を配置し、国際交流業務の円滑な推進をはかる。地域での国際理解講座に国際交流員を派遣し、国際理解を推進する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ドイツ、中国、韓国の国際交流員を各1人ずつ配置	平成24年度 ドイツ、中国、韓国の国際交流員を各1人ずつ配置	平成25年度 ドイツ・英語圏担当、中国担当、韓国担当の国際交流員を配置	平成26年度 ドイツ・英語圏担当、中国担当、韓国担当の国際交流員を配置	平成27年度 ドイツ・英語圏担当、中国担当、韓国担当の国際交流員を配置	
	年度別実績	国際交流員の外部派遣実績:93回(参加者数2,413人)	国際交流員の外部派遣実績:64回(1,639人)	国際交流員の外部派遣実績:60回(1,864人)	国際交流員の外部派遣実績:86回(1,485人)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	14,466	12,547	11,245	11,709	0	
	直接経費 A	12,217	10,319	9,059	9,452	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	24	0	0	0	0
	一般財源	12,193	10,319	9,059	9,452	0	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		国際交流員派遣事業への参加者数	人	目標	2500	2500	2000	2000	2000
	(指標の説明)		実績	2413	1639	1864	1485	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラムによるドイツ・英語圏担当の国際交流員を1人配置。 ・韓国および中国担当の国際交流員については、地域人材を各1人配置。 <p>【事業の成果】</p> <p>国際交流員の配置により、通訳や翻訳など国際姉妹都市などの交流業務を円滑に推進することができる。また、地域での国際理解講座、語学講座などに国際交流員を派遣することにより、市民の国際理解を推進することができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>姉妹都市をはじめとする幅広い国際交流の推進、市民の国際理解の醸成、多文化共生社会の推進のため、今後も継続して国際交流員の配置は必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	国際交流員派遣事業への参加者数	97%	66%	93%	74%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市をはじめとする国際交流事業の推進、市民の国際理解の醸成、多文化共生社会の推進のため、市として継続的に取り組む必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業を継続することにより、成果の向上につながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市の国際交流事業を円滑に推進するための人材を効率よく確保するため、自治体国際化協会による外国人青年招致事業と地域人材の登用を併用している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	幅広い市民を対象としており、公平性が保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	姉妹都市をはじめとする幅広い国際交流の推進、市民の国際理解の醸成、多文化共生社会の推進のため、今後も継続して国際交流員の配置し、交流事業を実施していく。	